

# 単位取得可能セッションのご案内

2022年9月2日(金)

セッション区分	演題名
Spine Leader's Lecture1	脊髄空洞を生じた脊髄癒着性くも膜炎に対するS-S bypass手術の治療成績
	脊髄癒着性くも膜炎の手術療法
Spine Leader's Lecture2	脊磁図による次世代の脊髄・神経機能診断
	電気生理による脊髄、神経根の評価
ランチョンセミナー1	脊椎後方instrumentation変遷における私流の歴史的理解と使用方法； 頸椎疾患を中心に
ランチョンセミナー2	骨粗鬆性椎体骨折に対する治療戦略 －軽症から最重症例まで、脆弱骨にいかに対峙するか？－
ランチョンセミナー3	脊椎脊髄疾患に対する最小侵襲脊椎治療 －新技術を中心に－
ランチョンセミナー4	脱・Failed Back Surgery Syndrome (FBSS) －神経障害性疼痛と心理社会的疼痛に対する治療戦略－
	外傷性頸髄損傷管理のpearls and pitfalls
ランチョンセミナー5	両開き式頸椎椎弓形成術における椎弓間スペースの長期経過と プレートシステムについて
	ロッキング機構を持つチタン製頸椎片開プレートの使用成績
Spine Leader's Lecture3	低侵襲前側方腰椎固定術（OLIF51）の手術手技と臨床成績
	再確認、LIFの合併症対策～OLIF25を中心に
Tea Time セミナー2	頸椎後方固定術における術中頸椎アライメント調整 －新たなヘッドポジショニングシステムを用いた頭部固定と手術手技
	脊髄空洞症の発生機構について
Tea Time セミナー1	高齢者腰椎変性疾患に対する可動性を有する椎弓根スクリューによる 制動術の有用性
	ACRを用いた変形矯正術の手術手技の実際とその効果
Tea Time セミナー3	幅の広いブーメラン型ケージを用いた下位腰椎椎体間固定における 前弯形成・骨癒合獲得の工夫
	可動性を温存した頸椎前方手術－key hole surgeryを中心に－
Tea Time セミナー4	脳脊髄液漏出症の外科治療
	硬膜病変の最新知見
イブニングセミナー1	頸椎神経根症に対する顕微鏡下頸椎前方椎間孔拡大術（MacF） －transuncal approach－
	頸椎症性脊髄神経根症における片開き式椎弓形成術と椎間孔拡大術の併用にお いてチタン製インプラントは有用である－神経根除圧を忘れないで！－
イブニングセミナー2	DISHを伴う脊椎骨折に対する側臥位手術
	首下がり治療のdecision making
イブニングセミナー4	原発性脊椎/傍脊椎腫瘍に対する診断・治療戦略
	転移性脊椎腫瘍に対するTESの現状
イブニングセミナー3	脊髄動脈脈奇形病変の診断と外科治療
	腰椎周辺疾患並びに下肢の絞扼性末梢神経疾患の診断のコツ並びに病態、治療

時間	会場	講師	単位種別分野	必須分野番号	認定番号-枝番
8:20～9:20	第2会場	河野 修	SS	N-7	22-0759-001
		小柳 泉			
9:25～10:25	第2会場	川端 茂徳	SS	N-1,7	22-0759-002
		今城 靖明			
12:10～13:10	第1会場	清水 敬親	SS	N-7	22-0759-005
12:10～13:10	第2会場	西田康太郎	SS	N-4,7	22-0759-006
12:10～13:10	第3会場	石井 賢	SS	N-7	22-0759-007
12:10～13:10	第4会場	稲毛 一秀	SS	N-7,13	22-0759-003
		前田 健			
12:10～13:10	第5会場	中川 幸洋	SS	N-7	22-0759-004
		藤原 翔			
13:15～14:15	第2会場	小谷 善久	SS	N-7	22-0759-008
		折田 純久			
13:20～14:20	第3会場	金山 修一	SS	N-7	22-0759-009
		張 漢秀			
14:25～15:25	第2会場	江口 和	SS	N-7	22-0759-010
		齋藤 貴徳			
14:30～15:30	第3会場	山田 勝崇	SS	N-7	22-0759-011
		原 政人			
15:00～16:00	第4会場	高井 敬介	SS	N-7	22-0759-012
		内門 久明			
15:30～16:30	第2会場	土屋 直人	SS	N-7	22-0759-013
		山崎 昭義			
15:35～16:35	第3会場	生熊 久敬	SS	N-7	22-0759-014
		宮本 裕史			
15:45～16:45	第5会場	松本 嘉寛	SS	N-5,7	22-0759-016
		川原 範夫			
16:05～17:05	第4会場	遠藤 俊毅	SS	N-7	22-0759-015
		井須 豊彦			

N：日整会専門医単位 SS：脊椎脊髄病医単位  
 [1] 整形外科基礎科学、[4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）、[5] 骨・軟部腫瘍、  
 [7] 脊椎・脊髄疾患、[11] 骨盤・股関節疾患、[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）、  
 [14-5] 1～13ならびに14-1～14-4に当てはまらないもの

2022年9月3日(土)

セッション区分	演題名
Spine Leader's Lecture4	高齢者の脊柱変形を伴う腰椎変性疾患に対する矯正固定手術 ～胸椎から骨盤までの矯正固定ができるようになってからの反省～
	成人脊柱変形矯正固定術における近位固定端へのアンカー設置法
ハンズオンセミナー 1	超音波ガイド下神経根ブロックによる高位診断と低侵襲頸椎手術
	頸髄損傷に対する早期除圧術
Spine Leader's Lecture5	ゼロから始めたデジタルトランスフォーメーション (DX)・VR/AR の開発 ー骨粗鬆症診療・メタバース (仮想空間) の試みー
	私のPSO ー師から受け継いだテクニックとフロアブル止血材を用いた止血手技ー
ハンズオンセミナー 2	頸椎手術における我々の小技
Spine Leader's Lecture6	頭蓋頸椎移行部手術 ー後方手術
	頭蓋頸椎移行部病変への前方アプローチ
ランチョンセミナー 6	手術支援ロボット
ランチョンセミナー 7	骨粗鬆症性椎体骨折に対する包括的治療体系 ー薬物治療も含めてー
ランチョンセミナー 8	脊椎手術の止血
	血管剥離と止血におけるコツと落とし穴 ～血管外科医からの本音のメッセージ～
ランチョンセミナー 9	脊髄内腫瘍手術を安全に行うための基本原則と技術革新
ランチョンセミナー 10	Expandable cageの良いところ、悪いところ ー設置の仕方のPitfallー
Spine Leader's Lecture7	脊椎手術における出血コントロールのいろは
	脊柱変形に対する側方侵入椎体間固定術のpitfalls
Tea Time セミナー 5	サイエンスを基盤にする医療材料の進化が脊椎外科医療の未来を拓く
Spine Leader's Lecture8	頸椎 OPLL に対する前方除圧のテクニック
	What we thought, what we did. ー困難な症例への挑戦・失敗から学んだことー
イブニングセミナー 5	術後感染予防のための銀含有脊椎抗菌インプラントの役割
	脊椎外科における3Dプリンタの応用と実際

時間	会場	講師	単位種別分野	必須分野番号	認定番号-枝番
8:30～9:30	第2会場	寺山 星	SS	N-7.11	22-0759-017
		福田健太郎			
9:25～10:25	第5会場	石原 慎一	SS	N-7	22-0759-018
		井口 浩一			
9:40～10:40	第2会場	成田 涉	SS	N-7	22-0759-019
		中尾 祐介			
10:40～11:40	第5会場	河村 直洋	SS	N-7	22-0759-021
10:50～11:50	第2会場	下川 宣幸	SS	N-7	22-0759-020
		尾原 裕康			
12:00～13:00	第1会場	金村 徳相	SS	N-7	22-0759-026
12:00～13:00	第2会場	中村 博亮	SS	N-4.7	22-0759-023
12:00～13:00	第3会場	佐々木寛二	SS	N-14-5	22-0759-022
		須田 久雄			
12:00～13:00	第4会場	高見 俊宏	SS	N-5.7	22-0759-024
12:00～13:00	第5会場	坂本 武志	SS	N-7	22-0759-025
13:10～14:10	第2会場	渡邊 慶	SS	N-7	22-0759-028
		木村 敦			
13:10～14:10	第1会場	伊東 学	SS	N-1.7	22-0759-029
14:15～15:15	第2会場	菅原 卓	SS	N-7	22-0759-027
		久保田基夫			
15:30～16:30	第3会場	森本 忠嗣	SS	N-7	22-0759-030
		安倍雄一郎			

N: 日整会専門医単位 SS: 脊椎脊髄病医単位  
 [1] 整形外科基礎科学、[4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む)、[5] 骨・軟部腫瘍、  
 [7] 脊椎・脊髄疾患、[11] 骨盤・股関節疾患、[13] リハビリテーション (理学療法、義肢装具を含む)、  
 [14-5] 1～13ならびに14-1～14-4に当てはまらないもの